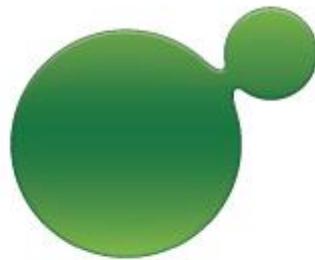


ファイル軽量化ソリューション

NXPowerLite™

NXPowerLite 5 ファイルサーバーエディション

ユーザーズマニュアル



NXPowerLite™

ファイルサーバーエディション

目次

概要	3
インストールおよび設定	3
軽量化の仕組み.....	4
ファイルの軽量化とは?	6
バージョン 5 の新機能	7
バージョン 4 からのアップグレード方法.....	8
各機能について	10
ダッシュボード	10
軽量化対象フォルダー.....	10
対象ファイル形式	12
軽量化レベル	13
スケジュール	15
シミュレーションモードおよび軽量化モード	15
レポート	16
サポート	19
トラブルシューティング	19
FAQ.....	20
技術サポート.....	21
JPEG 画質レベルの比較	23
使用許諾	25

概要

インストールおよび設定

動作環境

NXPowerLite ファイルサーバーエディションの対応 OS は、以下になります。※1

- Windows XP SP3 32bit (シミュレーションのみ)
- Windows 7 SP1 32bit (シミュレーションのみ)
- Windows 7 SP1 64bit (シミュレーションのみ)
- Windows Server 2003 SP2 32bit
- Windows Server 2003 R2 SP2 32bit
- Windows Server 2008 SP2 32bit
- Windows Server 2008 R2 SP1 64bit
- Windows Server 2012 64bit
- Windows Storage Server 2008 R2 SP1 64bit ※2
- Windows Storage Server 2012 ※2

以下の仮想化環境上でもご利用可能です(弊社内では Windows Server 2008 R2 SP1 環境上で確認を行っております)。

- Hyper-V 2.0 上で動作するゲスト OS
- VMware ESXi 4.1 上で動作するゲスト OS
- VMware ESXi 5.0 上で動作するゲスト OS

※1: 対応 OS に .NET Framework 2.0-3.5 がインストールされている必要があります。

※2: Windows Storage Server は OEM 供給元によって独自のカスタマイズが行われている場合があり、使用できる機能などもその供給元によって異なる可能性があります。

※ 軽量化(またはシミュレーション)の実行時は、インストールを行った端末の一時フォルダーを使用するため、軽量化対象フォルダー内にあるファイル内で 1 番大きいファイルの 2 倍以上の空き容量が必要です。

インストール

NXPowerLite ファイルサーバーエディションは、軽量化の対象ファイルが保存されているサーバーと同じサーバー上にインストールすると、パフォーマンスを最大限に引き出すことが可能です。しかし、上記の動作環境であれば同じネットワーク上の Windows マシンへインストールすることも可能です。ネットワーク上の Windows マシンへインストールする場合、シミュレーションまたは軽量化処理実行時に CPU やメモリなどのリソースをより多く必要になることと、ネットワークを介してファイルをコピーする必要があるため、実環境に影響の出ない環境でのシミュレーション実行を推奨します。

実環境でシミュレーションを実行する場合、業務時間外(夜間や週末)などサーバーへの負荷が比較的低い時間帯に NXPowerLite を実行させるようスケジュールで設定することをお勧めします。ローカル上のマシンで NXPowerLite を実行した場合、指定した対象フォルダー内のファイルサイズや NXPowerLite がインストールされているマシンのスペックによって異なりますが、平均 24 時間で 100GB のファイルの処理を行えます。通常、ネットワーク経由で実行した場合は処理に、より時間がかかる傾向があります。

ソフトウェアをインストールする際は、ローカルマシンの管理者権限が必要となります。ソフトウェアをダウンロードしたら、.msi ファイルをダブルクリックして、インストールウィザードに従いインストールを完了してください。インストール完了後、デスクトップ上のショートカットまたは Windows のスタートメニューから NXPowerLite ファイルサーバーエディションにアクセスするとダッシュボードが表示されます。

「NXPowerLite File Server」 サービスの設定

NXPowerLite は軽量化処理の管理と実行に Windows のサービスを使用します。通常、このサービスはローカルマシン上のデータの軽量化を許可する「ローカルシステムアカウント」権限で実行するように初期設定されています。ただし、ネットワーク上のデータにアクセスするには、以下のフォルダーへの「読み取り/書き込み/更新/削除」すべての権限をもつユーザアカウントでサービスを実行できるように設定する必要があります。

- すべての軽量化対象フォルダー
- NXPowerLite がインストールされたマシンのフォルダー ※Windows Server 2008、Windows 7 の場合は「C:\ProgramData\Neuxpower\NXPowerLite for File Servers v5」フォルダー、Windows Server 2003、Windows XP の場合は「C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\Neuxpower\NXPowerLite for File Servers v5」フォルダー

サービスの設定方法:

以下のいずれかの方法でサービスを設定します。

NXPowerLite ファイルサーバエディションのダッシュボードを開きます。[設定]メニューから[Windows サービスの設定]オプションをクリックします。

または

NXPowerLite ファイルサーバエディションを起動せずに以下の方法で設定します。

- 「スタート」→「ファイル名を指定して実行」で表示されるウィンドウで「services.msc」と入力して「OK」をクリックします。
- 「NXPowerLite File Server」をダブルクリックします。
- 「ログオン」タブを開きます。
- 「アカウント」を選択します。
- すべての軽量化対象フォルダーへの「読み取り/書き込み/更新/削除」権限を持つアカウント名とパスワードを入力します。
- 「OK」をクリックします。
- 「NXPowerLite File Server」を右クリックして、メニューから「再起動」を選択します。

軽量化の仕組み

NXPowerLite は、PDF/Office/JPEG ファイルを軽量化することにより、サーバー全体の容量を削減します。メインアプリケーションではシミュレーションモードおよび軽量化モードを実行することが可能です。また、クイックスキャン機能を使用することにより、NXPowerLite がサーバーの容量削減に対して効果的かどうかをシミュレーションモードよりも短時間で判断することができます。

クイックスキャン

クイックスキャンはダッシュボードの[ツール]メニューから起動します。クイックスキャン機能を使用することにより、NXPowerLite がサーバーの容量削減に対して効果的かどうかをシミュレーションモードよりも短時間で判断することができます。シミュレーションモードでは対象ファイルを一時フォルダ(Temp フォルダ)へコピーしてから軽量化処理を行った後に削除する、などの処理を行うため削減容量の算出に時間がかかります。クイックスキャンは、Windows エクスプローラーがフォルダーのサイズを算出する時間と同等の時間で削減容量を算出します。

クイックスキャン実行後には削減容量をレポートで出力します。削減容量は、ファイル形式ごとにあらかじめ決められた軽量化率 (PowerPoint:63% Word:46% Excel:8% JPEG:51% PDF:45% Zip:4%)をもとに計算されます。クイックスキャンはシミュレーションモードよりも短時間で処理が終わるので、時間を節約するためシミュレーションモードよりも先に実行することをお勧めします。

シミュレーションモード

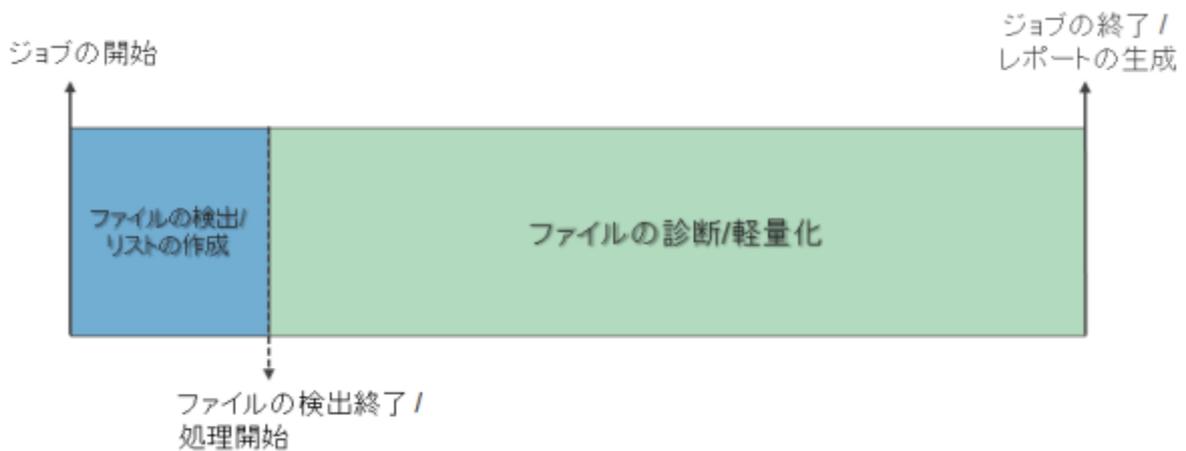
製品版購入前は、シミュレーションモードのみ使用できます。シミュレーションモードを実行すると、NXPowerLite はメモリ上でファイルの軽量化を行います。軽量化済みのファイルのサイズの差異を記録した後に、軽量化済みのファイルは削除されるので、原本ファイルは上書きされません。シミュレーションモードの実行完了後に、削減できるディスク容量の詳細なレポートを生成します。NXPowerLite では、軽量化実行後も見た目の画質にほとんど影響なくファイルを軽量化し、ディスク容量の大幅な削減が実現できるように、軽量化レベルの初期値が設定されています。



注意: シミュレーションモードでは原本ファイルの編集、削除、上書き処理は一切行いません。

シミュレーションモード ジョブの開始と実行

以下の図は、シミュレーションモードでのジョブの開始と実行を表します。



軽量化モード

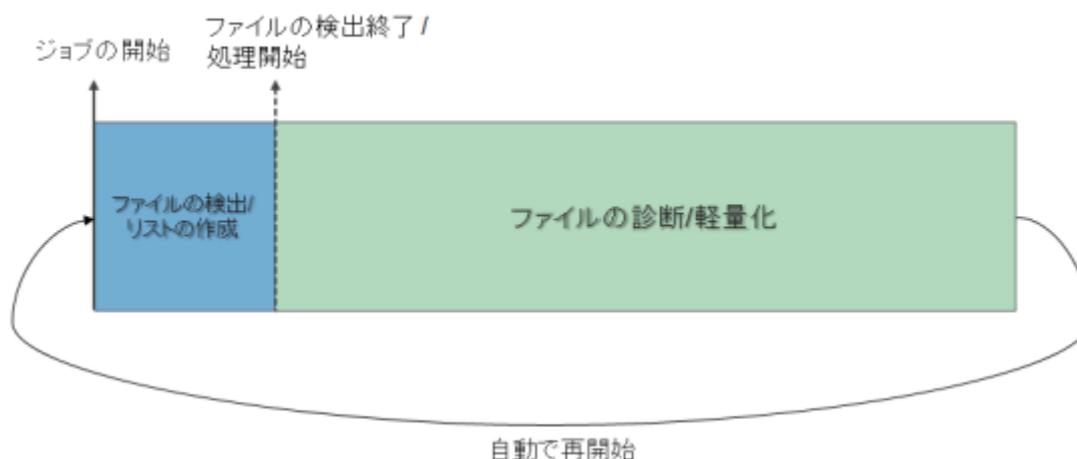
製品版購入後に送られてくるシリアルナンバーを入力すると、軽量化モードが有効になります。軽量化モードを実行すると、NXPowerLite は原本ファイルを軽量化後のファイルで上書きし、ディスク容量を削減します。現在実行中のレポートとして、実際に削減された容量を表示するレポートが作成されます。仕様上、不可逆圧縮を使用しておりますので、軽量化の際にファイル内で圧縮された情報は失われ、元に戻すことは出来ません。軽量化後に見た目の画質に影響なくファイルを圧縮できるよう初期値が設定されていますが、念の為軽量化モード実行前にはバックアップを行ってください。



注意: 軽量化モードの機能が以前のバージョンから大幅に変更しました。バージョン 5 では、スケジュールの繰り返し設定を行うことにより自動的に処理を再開します。

軽量化モード ジョブの開始と実行

軽量化モードは、シミュレーションモードとほぼ同様に動作しますが、違いとして最初のスキャン時に軽量化対象として判断されたファイルの処理がすべて完了すると、自動的に処理を再開します。つまり、軽量化対象フォルダーとして設定したフォルダーに対して、設定を変更するまでは軽量化処理を繰り返します。ファイルに対しての更新が行われなかった、などの理由により軽量化対象データがフォルダー内に存在しなかった場合は自動的に一時停止し、再開されるまで待機します。これにより CPU の無駄な浪費を避けることができます。



ファイルの軽量化とは？

NXPowerLite によるファイル軽量化の特徴

画像を含んだ Office ファイルは、通常、必要以上にファイルサイズが重くなっているものです。そのようなファイルを NXPowerLite で「軽量化」すれば、見た目には変わらないのに、ファイルサイズを劇的に軽量化できます。NXPowerLite は、Office ファイル内を自動的に解析して、貼り付けられている画像(キャプチャー画面、デジカメの写真等)や、他のアプリケーションで作成されて埋め込まれたオブジェクト(Excel の表・グラフ等)を、それぞれに適したデータ形式や解像度で「軽量化」することで、ファイルサイズを圧縮します。それにより、Office ファイルは、表示・印刷品質を損なうことなく、最大限に軽量化されます。そして、軽量化された後のファイルも、軽量化前の形式のまま、つまり、拡張子はそのまま(ppt、doc、xls 等)なので、解凍ソフトなども必要とせず、これまで通り PowerPoint、Word、Excel 等でそのまま開いて自由に編集できます。「NXPowerLite ファイルサーバーエディション」を使用すればディスクを増設することなく、空き容量を増やし、バックアップ時間を短縮することが可能です。ファイルサーバーやストレージの有効活用とコスト削減を実現します。

NXPowerLite は以下の方法でファイルを軽量化します。

PowerPoint、Word、Excel

- 不必要なメタデータの削除
- 「高速保存」情報の削除
- 貼り付けられた画像を最適なデータ形式に変換
- 画像の JPEG 圧縮
- 貼り付けられた画像を最適な解像度へ変換 (オプション)
- トリミングした部分の画像情報を削除 (オプション)
- 埋め込まれた文書の図形化 (オプション)

PDF (PDF & PDF/A)

- 貼り付けられた画像を最適なデータ形式に変換
- 画像の JPEG 圧縮
- 貼り付けられた画像を最適な解像度へ変換 (オプション)
- トリミングした部分の画像情報を削除 (オプション)
- プライベートデータを削除 (オプション)

JPEG

- JPEG 圧縮



注意: Zip ファイルから対象ファイル抽出後に、上記の方法によって軽量化されたファイルで上書きします。軽量化処理されたすべてのファイルは再度 Zip 圧縮されます。

バージョン 5 の新機能

NXPowerLite ファイルサーバーエディション バージョン 5 ではお客様からの機能要望を反映させ、多くの機能が改善されました。新機能および改善された機能についての概要は以下のとおりです。

PDF および Zip ファイルの軽量化

NXPowerLite ファイルサーバーエディション バージョン 5 では PDF ファイル(PDF/A も含む)を軽量化できるようになりました。PDF ファイル対応版としてすでにリリースされている NXPowerLite デスクトップエディションと同様の軽量化エンジンを使用しています。さらに Microsoft Office、JPEG、PDF を含む Zip ファイルの軽量化も行えるようになりました。

クイックスキャン

シミュレーションモード実行時、削減容量を算出しレポートを出力するまでに時間がかかる場合があります。クイックスキャンを使用すると、シミュレーションモード実行時よりも短時間で削減容量を算出しレポートを出力することによって、NXPowerLite がサーバーの容量削減に対して効果的かどうかを判断することが可能です。ただし、クイックスキャンの場合はファイル形式ごとにあらかじめ決められた軽量化率(PowerPoint: 63% Word: 46% Excel: 8% JPEG: 51% PDF: 45% Zip: 4%)をもとに削減容量を計算するため、正確な削減容量を確認したい場合はシミュレーションモードを実行してください。

軽量化の自動実行

軽量化の定期的な自動実行ができるようになりました。バージョン 4 では、一度ジョブが完了すると手動で再開する必要がありました。バージョン 5 では、軽量化モード実行時に軽量化対象フォルダーに対して繰り返し軽量化処理を行います。ただし、対象フォルダー内に軽量化対象データが存在しない場合、またはスケジュールで設定されている場合には一時停止します。一時停止後は、スケジュールで設定された時間に再開され定期的に軽量化が行われます。したがって、ジョブの再開を手動で行うためにソフトウェアを常に監視する必要がなくなりました。

軽量化レベルおよび対象ファイル形式プロファイルの作成

軽量化レベルまたは対象ファイル形式の設定をプロファイルとして作成し、それぞれ異なる設定を複数保存できるようになりました。これにより、フォルダーごとに異なるプロファイルを適用することが可能になりました。例えば、あるフォルダーにはすべての対象ファイル形式に対して既定の軽量化レベルで軽量化を行う、という設定を適用し、別のフォルダーには PDF ファイルのみを軽量化対象ファイルとし、既定よりも高い圧縮率の軽量化レベルで軽量化を行う、という設定を適用することができます。プロファイルは保存後に編集することも可能です。

スケジュール機能の改善

スケジュールを実行する開始日付を指定できるようになりました。併せて、日ごと/週ごと/月ごとのスケジュールを設定できるようになり、既存のシステムやアプリケーションに合わせた実行スケジュールを設定することが可能です。

ユーザーインターフェースの改善

NXPowerLite ファイルサーバーエディションの機能をより使いやすく、また軽量化の実行状況をより把握しやすいようにユーザーインターフェースのデザインを一新しました。

その他

上記のほか、以下の機能が改善されました。

- 詳細なレポートの出力とデザインの変更
- 軽量化エンジンの改善
- より安定した動作とエラーハンドリングの実装

バージョン 4 からのアップグレード方法

バージョン 4 からのアップグレード

アップグレードの前に

バージョン 4 で作成されたレポートをそのままバージョン 5 で閲覧することはできません。バージョン 5 をインストールする前にバージョン 4 で作成されたすべてのレポートをバージョン 4 の UI 上から一度開き HTML 形式で再保存してください。

バージョン 5 のインストール中にバージョン 4 の設定ファイルが削除されたり上書きされたりすることはありません。バージョン 4 を再度インストールしたい場合は、バージョン 5 のアンインストール後も以前の設定ファイルが適用されます。

バージョン 4 から 5 へ軽量化対象フォルダー設定方法

バージョン 5 ではスケジュール機能の改善やプロファイル作成が可能になるなど、大幅な機能変更を行ったためバージョン 4 の設定情報をバージョン 5 へ引き継ぐことができません。しかし、バージョン 4 で設定した軽量化対象フォルダーのパスを手動で設定することによりバージョン 5 に適用することができます。設定方法は以下のとおりです。

- 「%ALLUSERSPROFILE%\Neuxpower\NXPowerLite for File Servers」フォルダーへ移動します。
※Windows Server 2008、Windows 7 の場合は「C:\ProgramData\
Neuxpower\NXPowerLite for File Servers」フォルダー、Windows Server 2003、Windows XP の場合は「C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\Neuxpower
\NXPowerLite for File Servers」フォルダーへ移動します。

- 「inc-cfg.txt」ファイルを開きます。
- フォルダーパスをコピーします(1行目の数字はコピーしないでください)。
- デスクトップ上の「NXPowerLite Server Dashboard」アイコンをダブルクリックします。
- [ファイル]-[複数フォルダーの追加]ウィンドウを開きます。
- コピーしたフォルダーパスをフォルダーリストへ貼り付けます。
- [OK]をクリックします。



注意: 軽量化対象フォルダーは軽量化レベルと対象ファイル形式の設定が初期値の状態を追加されます。軽量化レベルと対象ファイル形式の設定を変更するには、ダッシュボード上の[編集]ボタンをクリックしてください。

各機能について

ダッシュボード

ダッシュボードは NXPowerLite のステータスと設定の概要を表示するトップ画面となります。ダッシュボードを中心に、アプリケーション内のすべての設定画面にアクセスします。

ファイルの軽量化を行うための設定

- [軽量化対象フォルダーの追加\(シミュレーションモードまたは軽量化モード\)](#)
- [ルールまたは除外対象フォルダーの追加](#)
- [フォルダーまたはサブフォルダー設定の編集](#)
- [複数フォルダーの追加](#)

スケジュールの設定

- [スケジュールプロファイル](#)

NXPowerLite 軽量化処理の進行状況とステータス

ダッシュボード画面下部のステータスバーには NXPowerLite の軽量化実行の進行状況が表示されます。スケジュールが設定されている場合は、軽量化実行の再開時間などの情報が表示されます。

レポートの閲覧

[レポート]メニューからは「シミュレーションのレポート」と「現在実行中のレポート」を閲覧できます(「現在実行中のレポート」は軽量化モード実行時のレポートです。軽量化モードは製品版購入後のシリアルナンバー登録後に実行可能になるため「現在実行中のレポート」もシリアルナンバー登録後にのみ閲覧できるようになります)。詳細は、[レポート](#)を参照してください。

プロファイルの管理

[プロファイル]メニューからは、「対象ファイル形式」「軽量化レベル」「スケジュール」それぞれのプロファイルの作成、編集、削除を行うことができます。

シリアルナンバーの登録

[ヘルプ]メニュー内の[シリアルナンバーの入力]を選択するか、または同メニュー内[NXPowerLite について]の[シリアルナンバーの入力]ボタンをクリックすると、シリアルナンバー入力画面が表示されます。シリアルナンバー入力後は軽量化モードが使用可能になります。詳細は、[シミュレーションモードおよび軽量化モード](#)を参照ください。

軽量化対象フォルダー

フォルダーの追加

軽量化対象のドライブ/フォルダーを選択するにはダッシュボードの[フォルダーの追加]ボタンをクリックします。[フォルダーの追加]ウィンドウが開くので、シミュレーション/軽量化を実行するドライブまたはフォルダーを選択します。選択したドライブ/フォルダーはリストに追加され、[対象ファイル形式](#)と[軽量化レベル](#)それぞれ初期設定のプロファイルが自動で設定されます。

初期設定とは別のプロファイルを設定するには、[フォルダーの追加]ウィンドウの[対象ファイル形式]、[軽量化レベル]のドロップダウンリストから「新しいプロファイル...」をクリックしてプロファイルを作成してください。詳細は、[対象ファイル形式および軽量化レベル](#)を参照してください。



注意: 明示的に指定しない限り、初期設定では選択された軽量化対象フォルダーのサブフォルダも軽量化対象フォルダーとして自動的に含まれます。除外対象サブフォルダーの指定方法については、以下の「[ルールの追加](#)」セクション、「[指定したフォルダーとサブフォルダーを除外する](#)」を参照してください。

複数フォルダーの追加

一度に複数のフォルダーをリストに追加することも可能です。設定方法は、[ファイル]メニューの[複数フォルダーの追加]をクリックして[複数フォルダーの追加]ウィンドウを開きます。軽量化対象フォルダーのフォルダーパスをコピーするかまたは直接フォルダーパスを入力してリストに追加してください。1 行につき 1 つのパスを指定します。

[複数フォルダーの追加]ウィンドウでフォルダーを複数指定して[OK]ボタンをクリックすると、ダッシュボード上に選択した軽量化対象フォルダーが一覧で表示されます。対象ファイル形式および軽量化レベルは初期設定のプロファイルが自動で選択されますが、[編集]ボタンをクリックしてそれぞれの設定を変更することも可能です。また、[ルールの追加]ボタンをクリックして指定したサブフォルダーに対する設定を変更することも可能です。フォルダーパスの誤入力や入力したフォルダーパスが存在しない場合は、対象フォルダーのリスト上でグレイアウトされて表示されます。

ルールの追加

軽量化の対象から除外しない限り、選択したフォルダーパス内のすべてのサブフォルダーに対して軽量化が実行されます。除外するフォルダーを指定したり[対象ファイル形式](#)や[軽量化レベル](#)を変更するには、リストからフォルダーパスを選択後[ルールの追加]ボタンをクリックします。

指定したフォルダーとサブフォルダーを除外する

[ルールの追加]ウィンドウで「指定したフォルダーとサブフォルダーを除外する」を選択すると、軽量化対象のフォルダーパスを追加した際、ある特定のサブフォルダーを軽量化の対象から除外することができます。除外対象のフォルダーパスを選択すると、リスト上には除外対象のフォルダーパスが右に字下げされ、アイコンと共に関連するフォルダーパスの下に表示されます。

フォルダー/サブフォルダー設定の変更

[ルールの追加]ウィンドウで「指定したフォルダーとサブフォルダーを除外する」を選択すると、対象ファイル形式と軽量化レベルの変更を行えます。例えば、ある特定のサブフォルダーに対しては PDF ファイルを軽量化対象とする、という設定を行いたい場合は以下の手順で設定します。

- ダッシュボードの軽量化対象リストで対象ファイル形式の設定を変更したいサブフォルダーを含むフォルダーを選択します。
- [ルールの追加]ボタンをクリックします。
- 変更対象のサブフォルダーを選択します。
- 「フォルダー/サブフォルダー設定の変更」をクリックします。
- [対象ファイル形式]のドロップダウンリストから「新しいプロファイルの作成...」を選択します。
[対象ファイル形式]ウィンドウで「PDF(*.pdf)」のみにチェックを付け、他のファイル形式のチェックを外します。
- プロファイル名を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

リスト上には設定を変更したサブフォルダーパスが右に字下げされ、アイコンと共に関連するフォルダーパスの下に表示されます。

軽量化対象フォルダー設定の編集

プロファイルの設定または軽量化対象フォルダーパスの変更を行うには、対象のフォルダーを選択し[編集]ボタンをクリックしてください。または対象フォルダー上でダブルクリックすると[フォルダーの編集]ウインドウが開きます。

ネットワーク上の軽量化対象フォルダー

ローカルのドライブまたはフォルダーと同様、ネットワーク上にあるフォルダーも軽量化対象フォルダーとしてリストに追加することができます。ただし、ネットワーク上にある軽量化対象フォルダーへの読み取り/書き込み/更新/削除すべての権限をもつユーザーアカウントで「NXPowerLite File Server」サービスを実行できるように設定する必要があります。詳細は、[インストールおよび設定](#)を参照してください。



注意: 割り当てられたネットワークドライブ(N: など)を経由して対象フォルダを追加する場合、ドライブ名は UNC パス(\\server\share など)に置き換わります。これは割り当てられたドライブ名はユーザごとに異なるため、当該ドライブにアクセスできない場合があるためです。

移動/削除されたフォルダー

移動済みまたは削除済みのフォルダーは対象フォルダーのリスト上でグレイアウトされて表示されます。これは、指定したパスにフォルダーが存在しないことを表します。

削除

軽量化対象のフォルダーパスと除外対象のフォルダーパスを選択し、[削除]ボタンをクリックすると、リストからフォルダーパスが削除されます。選択したフォルダーパスを削除した際、自動的に関連するすべてのルールが削除されます。Ctrl キーを押しながら軽量化対象フォルダーをクリックすることによりフォルダーの複数選択ができ、一度に削除することが可能です。

対象ファイル形式

対象ファイル形式プロファイルの設定

軽量化対象とするファイルの種類を設定する「対象ファイル形式プロファイル」の初期設定では、サポートしているすべてのファイルの種類が軽量化の対象として選択されています。この設定は軽量化対象フォルダーをダッシュボード上の軽量化対象フォルダーリストへ追加する際や、リストへ追加した後に[編集]ボタンで変更することも可能です。詳細は、[軽量化対象フォルダー](#)を参照ください。

サポートしているファイルの種類

NXPowerLite が軽量化可能なファイルは、Microsoft Office 97、2000、XP、2003、2007、2010 で作成された Word、Excel、PowerPoint 形式のファイル、PDF ファイルおよび JPEG 画像です。

- Microsoft PowerPoint 97-2003 バイナリ形式 (.ppt, .pot, .pps)
- Microsoft PowerPoint Open XML 形式 (.pptx, .pptm, .potx, .potm, .ppsx, .ppsm)
- Microsoft Word 97-2003 バイナリ形式 (.doc, .dot)
- Microsoft Word Open XML 形式 (.docx, .docm, .dotx, .dotm)
- Microsoft Excel 97-2003 バイナリ形式 (.xls, .xlt)
- Microsoft Excel Open XML 形式 (.xlsx, .xlsm, .xltx, .xltm)

- PDF & PDF/A 文書 (.pdf) ※バージョン XI(11)以前の Adobe Acrobat を使用して作成された PDF ファイル
- JPEG 画像 (.jpeg, .jpg, .jpe, .jfif, .jif, .jfi)

ツリービューを展開して、チェックボックスにチェックを付ける/外すことにより、軽量化対象として各ファイルの種類を有効/無効を設定できます。

読み取り専用ファイル

初期設定では、「読み取り専用」のファイルに対して軽量化されないように設定されています。軽量化の対象とするには、[読み取り専用ファイルを含む]にチェックを入れてください。

Zip ファイル

初期設定では、[対象ファイル形式]ウィンドウのツリービューで選択したファイルの種類を含む Zip ファイルを軽量化するように設定されています。Zip ファイルを軽量化しない場合には、[ZIP 内に上記で選択したファイル形式を含む場合、軽量化する]のチェックを外してください。



注意: 暗号化またはパスワードで保護された Office/PDF ファイルを含む Zip ファイルに対しては軽量化を行うことはできません。

「次の期間内に変更されたファイルは除外する」オプション

通常、ファイルサーバーにはユーザーが定期的にアクセスし更新しているファイルが保存されています。一方、頻繁に更新はされませんが閲覧目的のために保存されているファイルもあります。この点を考慮し、NXPowerLite は軽量化対象のファイルの選定を「ファイルの更新日時」または「ファイルのアクセス日時」を基準にして決定します。初期設定では「1 ヶ月」が設定されており、1 ヶ月以内に更新/アクセスされたファイルに対しては処理を行いません。

プロファイル名

作成したプロファイルのプロファイル名にはすべて異なる名前を付ける必要があります。ただし、他の種類のプロファイルであれば同じ名前のプロファイルを作成することが可能です。例えば、**軽量化レベル**プロファイルと**スケジュール**プロファイルのプロファイル名は同じ名前を付けてもかまいません。また、プロファイル名には「PDF 以外のすべてのファイル形式」や「マーケティング部門」など、プロファイルの設定内容が一目でわかるような名前を付けることを推奨します。

軽量化レベル

軽量化レベルプロファイルの設定

軽量化レベルプロファイルの初期設定は、軽量化処理実行後にファイルを開いた際、見た目を損なうことなくファイルサイズを小さくできるよう設定されています。初期設定を使用しての軽量化実行を推奨しますが、設定を変更することも可能です。軽量化レベルプロファイルを新規に作成するには、[フォルダーの追加]画面にある[軽量化レベル]のドロップダウンリストから「新しいプロファイル...」を選択します。詳細は、[フォルダーの追加](#)を参照してください。



注意: [プロファイル]メニューの[対象ファイル形式]、[軽量化レベル]、[スケジュール]から各プロファイルの編集も可能です。

軽量化レベル

「次の解像度で軽量化:」

Office ファイルには、デジタルカメラで撮られた高解像度でサイズの大きな画像が貼り付けられていることが多々あります。NXPowerLite は解像度を指定しての軽量化が可能です。ただし、フルカラー印刷、大きい用紙に対する印刷、画像の品質を維持した印刷を行いたい場合は、解像度の変更は行わない設定(チェックボックスを外した状態)で軽量化を行うことをお勧めします。

「JPEG 画質」

このオプションでは、JPEG 圧縮する際の画質を設定します。画質レベルを低く設定して軽量化すれば、より多くファイル容量を削減することができますが、画像が粗くなる可能性があります。また、削減できるファイル容量と見た目の画質のバランスを考慮した場合、設定を「8」にしておくことをお勧めします。詳細は、[JPEG 画質レベルの比較](#)を参照してください。



注意: [Microsoft Office]および[PDF]オプションの「JPEG 画質」の設定は、それぞれ Microsoft Office 文書と PDF ファイル内に含まれる JPEG 画像に対して適用されます。解像度の変更は JPEG ファイルに対しては適用されず、Microsoft Office 文書と PDF ファイル内に含まれる JPEG 画像に対してのみ適用されます。

追加設定

「以下のファイルに適用」

通常、ファイルサーバーにはユーザーが定期的にアクセスし更新しているファイルが保存されています。一方、頻繁に更新はされませんが閲覧目的のために保存されているファイルもあります。この点を考慮し、NXPowerLite は軽量化対象のファイルの選定を「ファイルの更新日時」または「ファイルのアクセス日時」を基準にして決定します。初期設定では「9ヶ月」が設定されており、9ヶ月以内に更新/アクセスされたファイルに対しては以下の処理を行いません。

「画像のトリミングを許可」

このオプションをチェックすると、トリミングツールで調整された画像を検出し、トリミングされた部分のデータを削除します。これによりファイル容量は削減されますが、削除された画像データを復帰させることはできません。

「埋め込まれた文書の図形化」

このオプションをチェックすると、ファイルに含まれるオブジェクト(Excel で作成されたグラフなど)は、すべて画像として処理されます。図形変換を行うと、ファイル容量は大幅に減りますが、図形変換した埋め込み文書は再編集できなくなります。

例えば、図表を含む Excel シートが埋め込まれた Word 文書は、その図表をダブルクリックすることにより、Excel 上で編集することができます。しかし、軽量化によりファイル内の埋め込まれた文書は画像に変換されるので、再度図表をダブルクリックしても、Excel で編集することはできません。

「プライベートデータの削除」

PDF ファイルの作成や編集が可能な Adobe Acrobat、InDesign、Illustrator、Photoshop などのアプリケーションは、ファイル内に各アプリケーション固有の編集情報を保持することができますが、ファイルサイズを大きくする可能性があります。NXPowerLite は、ファイルの見た目を損なうことなくこの編集情報を削除することができます。無効になる編集機能もありますが、各アプリケーションでの基本的な編集は可能です。

「Exif 情報の削除」

JPEG 画像は通常、Exif 情報(カメラのモデルや設定情報など)を保持しています。初期設定では、Exif 情報は削除されず維持されたままになります。このオプションを有効にした場合、軽量化実行時に JPEG 画像から Exif 情報を削除します。

プロフィール名

作成したプロフィールのプロファイル名にはすべて異なる名前を付ける必要があります。ただし、他の種類のプロファイルであれば同じ名前プロファイルを作成することが可能です。例えば、**対象ファイル形式**プロファイルや**スケジュール**プロファイルのプロファイル名は同じ名前を付けてもかまいません。また、プロフィール名には「軽量化対象期間(12ヶ月前以前)」や「マーケティング部門」など、プロフィールの設定内容が一目でわかるような名前を付けることを推奨します。

スケジュール

スケジュールプロフィールの設定

NXPowerLite ファイルサーバーエディションは、初期設定としてスケジュールが設定されていません。シミュレーションモードを実行した場合、ジョブが完了するまで処理は停止しません。また、軽量化モード実行時は軽量化対象のファイルが新しく追加されるまでは一時停止したままになります。しかし、バックアップツールが実行される時間と同じ時間帯に NXPowerLite を実行することはお勧めできません。夜間や週末などプロセッサ処理が比較的集中しない時間帯や日付と時間を指定してジョブを開始するようスケジュールで設定することをお勧めします。

スケジュールプロフィールの作成

スケジュールプロフィールを新規で作成するには、ダッシュボード上の[スケジュール]のドロップダウンリストから「新しいプロフィール...」を選択します。スケジュールプロフィールには[開始日時]や[繰り返し]の条件など詳細なスケジュールを追加することができます。指定した開始日時によって[繰り返し]のドロップダウンリストに表示される値が異なります。



注意: NXPowerLite は Windows のシステム時計、タイムゾーン、夏時間が変更された場合、変更された時間に合わせてスケジュールも自動調整します。

プロフィール名

作成したプロフィールのプロファイル名にはすべて異なる名前を付ける必要があります。ただし、他の種類のプロファイルであれば同じ名前プロファイルを作成することが可能です。例えば、**軽量化レベル**プロファイルと**対象ファイル形式**プロファイルのプロファイル名は同じ名前を付けてもかまいません。また、プロフィール名には「夜間と週末に実行」や「マーケティング部門」など、プロフィールの設定内容が一目でわかるような名前を付けることを推奨します。

シミュレーションモードおよび軽量化モード

シミュレーションモード

シミュレーションモードを実行すると、軽量化の対象ファイルに対して修正や上書きなどの変更を加えることはありません。シミュレーションモードの実行完了後に、軽量化によって削減できるディスク容量の詳細なレポートを生成します。実際に原本ファイルを軽量化後のファイルで上書きしディスク容量を削減するには、製品版購入後に送られてくるシリアルナンバーを入力して軽量化モードを有効にする必要があります。製品を購入するには、[こちら](#)へご連絡ください。

シリアルナンバーの入力

シリアルナンバーを入力するには、[ヘルプ]メニューの[シリアルナンバーを入力]をクリックします。ポップアップされたウィンドウでシリアルナンバーを入力し、[OK]ボタンをクリックします。シリアルナンバーが有効であれば、「NXPowerLite ファイルサーバーエディションについて」のウィンドウが表示され、承認された登録情報の詳細が表示されます。

シリアルナンバーを登録すると何ができるようになりますか？

シリアルナンバーを入力した後は、「軽量化モード」のみ使用できます。「シミュレーションモード」は使用できなくなりますが、シミュレーションのレポートを閲覧することは可能です。製品版購入後も「シミュレーションモード」を使用したい場合は、別のマシンにインストールしてご使用ください。

レポート

シミュレーションのレポート

シミュレーションのレポートは、シミュレーションモード実行時ジョブが完了したか、またはユーザーによってジョブが停止された際に生成されます。レポートには、現在の設定で軽量化処理を実行した場合の削減容量(予想)などの詳細な情報が出力されます。

対象ファイル

このセクションには、軽量化対象フォルダー内の「軽量化対象ファイル」と「軽量化対象ではないファイル」それぞれのファイルサイズの合計が表示されます。

削減容量

このセクションには、軽量化モードを実行した際の削減容量の目安が表示されます。軽量化実行時は NXPowerLite サーバエディションのサーバー内に対象ファイルをコピーして一時ファイルを作成します。作成した一時ファイルに対して軽量化処理を行い対象ファイルに対して上書きを行います。その後一時ファイルは削除されます。

サポートされたファイル

対象ファイル形式別の削減容量を表示します。軽量化後のファイルサイズと削減容量は目安です。ファイルは上書きされていません。

スキップされた対象ファイル

サポートされた対象ファイル形式であるにも関わらず、軽量化対象外としてスキップされた理由を表示します。

理由	詳細
現在の設定では軽量化できないファイル	設定した軽量化レベルでは軽量化できないファイル。軽量化レベルの設定を変更した場合、ファイルサイズをより小さくすることは可能ですが、軽量化後ファイルを開けた際の見え目などに影響が出る可能性があります。
対象ファイル形式の設定によりスキップされたファイル	対象ファイル形式の設定で軽量化対象のファイルとして選択されていないため、スキップされたファイル。
設定期限以下のファイル	「ファイルの更新日時」または「ファイルのアクセス日時」が対象ファイル形式で設定した期間よりも新しいファイルのため、軽量化が実行されなかったファイル。

オフライン	「オフライン」ファイルのため、軽量化の実行ができないファイル。
読み取り専用のファイル	「読み取り専用」のため、軽量化が実行できないファイル。必要に応じて、対象ファイル形式の設定で[読み取り専用ファイルを含む]を有効にし、読み取り専用のファイルでも実行できるよう設定することができます。
暗号化もしくはパスワード保護されたファイル	暗号化もしくはパスワードで保護された Office ファイルに対して軽量化を行うことはできません。
軽量化済み	NXPowerLite ですでに軽量化されたファイル。
軽量化余地のない JPEG ファイル	NXPowerLite は必要以上に画像が劣化することを防ぐため、100 万画素より小さな JPEG 画像は軽量化しません。
不明なエラー	スキップされた対象ファイルの理由リストに記載されている理由以外のなんらかの原因で軽量化できなかったファイル
誤った拡張子もしくは破損したファイル	ファイルの拡張子が軽量化対象の種類でも、実際には異なるファイル形式をもつファイル。例えば、RTF(リッチテキスト形式)ファイルの拡張子は「.doc」ですが、NXPowerLite では軽量化を行うことができません。
開いているファイル	ユーザがファイルを開いている場合など、使用中のファイルに対しては軽量化を行いません。
Office 97 より前の Office で作成されたファイル	Office 97 より前のバージョンで作成された Office ファイルに対しては軽量化を行うことができません。Microsoft が古いバージョンの Office のファイル形式を公開していないため、軽量化対象外となります。Office 97 より前のバージョンで作成されたファイルに対して軽量化を実行する前に、Office の新しいバージョンのファイル形式へ変換する必要があります。Office 97、2000、XP、2003、2007、2010 のいずれかのバージョンの Office で再度保存し直してください。Office 2010 で作成されたファイルは軽量化されますが、Office 2010 よりも後にリリースされたバージョンの Office で作成されたファイルは軽量化されません。
タグ情報が加えられないファイル	NXPowerLite は軽量化に成功した際、タグ情報をファイルに追加します。何らかの理由によりタグ情報を追加できなかったファイルは軽量化されません。
解析不能ファイル	軽量化できるファイルの種類であっても、エラーが発生して軽量化に失敗したファイル。
高速保存された Word 文書	NXPowerLite は[高速保存を許可する]オプションが有効になっている Word 文書に対して軽量化を行いません。「高速保存」機能は Word 2002 以降初期設定では無効となっており、Word 2007 では削除されました。
PDF の軽量化エラー	規格に準拠していない、または破損しているなどの理由で軽量化できなかった PDF ファイル。
削除・移動・名前の変更により存在しないファイル	ファイルのスキャン処理時には存在したがその後、削除・移動・名前の変更により軽量化対象フォルダー内に存在しないファイル
内部エラー	ファイル解析中にエラーが発生したファイル
軽量化できない PDF 形式	PDF/X、PDF/E、PDF/UA などの軽量化できない PDF 形式

サポートされて
いないアプリケ
ーションで作成さ
れたファイル

Microsoft Office 以外のアプリケーションで作成または保存されたファイル

軽量化対象ではないファイル

「軽量化対象ではないファイル」セクションは、軽量化対象フォルダー内に NXPowerLite がもともと軽量化できない拡張子 (.wmv, .txt など)のファイルが含まれていた場合に表示されます。

アクセスできないフォルダー

軽量化モード実行時、フォルダーへのアクセス権限によりアクセスできなかった軽量化対象フォルダーの一覧です。軽量化対象フォルダーへの読み取り/書き込み/更新/削除すべての権限をもつユーザアカウントで「NXPowerLite File Server」サービスを実行できるように設定されているか確認してください。

現在実行中のレポート

「現在実行中のレポート」は NXPowerLite ファイルサーバーエディションを使用して削減できたディスク容量の概要を表示します。また、現在実行中のレポートはシリアルナンバー登録後すぐに生成可能になり、軽量化処理実行の最新情報を表示します。レポート内に表示される内容は以下のとおりです。

ファイル形式ごとの削減容量

このセクションは、ファイル形式ごとの削減容量を表示します。

実行履歴(1 ヶ月以内)

このセクションは、1 ヶ月以内に軽量化処理を実行した履歴の一覧です。処理時間、軽量化済みファイル数、削減容量を日ごとに表示します。

月別削減容量

このセクションは、月別の削減容量を表示します。

サポート

トラブルシューティング

NXPowerLite ファイルサーバーエディションを使用中に問題が発生した場合は、以下をご参考ください。

設定ファイルの破損

設定ファイルが破損または消失した場合、NXPowerLite はエラーを検知しどの設定ファイルに影響しているかの詳細をイベントビューアの Windows ログの「アプリケーション」に出力します。

解決方法

設定ファイルが破損または消失した場合、以下のいずれかを行ってください。

1. UI 上の設定を初期値に戻します。初期値に戻す前に設定した値は保存されず、初期値に戻ります。
2. ダッシュボードを閉じて、設定ファイルを確認します。設定ファイルは「C:\ProgramData\Neuxpower\NXPowerLite for File Servers v5」のサブフォルダ内に保存されています。



「All Users profile」のフォルダーパスは Windows のバージョンと設定により異なります。Windows Server 2008、Windows 7 の場合は、「C:\ProgramData\Neuxpower\NXPowerLite for File Servers v5」フォルダー、Windows Server 2003、Windows XP の場合は「C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\Neuxpower\NXPowerLite for File Servers v5」フォルダーになります。

アクセス拒否

「NXPowerLite File Server」サービスが設定ファイルまたはレジストリへアクセスできなくなった場合は警告メッセージが表示されます。この警告メッセージは通常、ネットワーク上のフォルダーを軽量化するために「NXPowerLite File Server」サービスに設定されていたアカウントが変更されたため、NXPowerLite がインストールされているマシン内のフォルダーにアクセスできなくなった場合に発生します。

解決方法

1. イベントビューアの Windows ログの「アプリケーション」でエラーメッセージの詳細を確認してください
2. 「NXPowerLite File Server」サービスを再設定します。

以下のフォルダーへの読み取り/書き込み/更新/削除すべての権限をもつユーザアカウントでサービスを実行できるように設定してください。

- すべての軽量化対象フォルダー
- Windows Server 2008、Windows 7 の場合は「C:\ProgramData\Neuxpower\NXPowerLite for File Servers v5」フォルダー、Windows Server 2003、Windows XP の場合は「C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\Neuxpower\NXPowerLite for File Servers v5」フォルダー



[設定]-[Windows サービスの設定]からもユーザーアカウントを設定することができます。

予期せぬエラー

ごくまれに Windows またはハードウェアに問題が発生した可能性がある場合、エラーメッセージが表示されます。通常、メモリ不足やハードウェア、ドライバ、ファームウェアの不具合など、NXPowerLite とは関連しない部分が原因で発生します。

解決方法

1. イベントビューアの Windows ログの「アプリケーション」でエラーメッセージの詳細を確認してください。
2. 「NXPowerLite File Server」サービスを再起動し、ダッシュボードを再開します。
3. 上記の手順でも問題が解決しない場合は、[テクニカルサポート](#)へお問い合わせください。

FAQ

Q: ファイルの軽量化に時間がかかります。

軽量化/シミュレーション処理完了にかかる時間は、指定した対象フォルダー内のファイルのサイズや NXPowerLite がインストールされているマシンのスペックによって異なりますが平均 24 時間で 100GB のファイルの処理を行えます。通常、ネットワーク経由で実行した場合は処理に、より時間がかかる傾向があります。

Q: 軽量化モードが使用できません。

インストール直後の NXPowerLite ファイルサーバーエディションでは、軽量化モードはご使用になれません。軽量化モードを使用してファイルの軽量化処理を行うことはできず、シミュレーションモードのみご使用になれます。軽量化モードを使用するには、[シミュレーションモードおよび軽量化モード](#)を参照してください

Q: ディスク容量をどれくらい削減できますか。

ディスク容量をどのくらい削減できるかは、対象フォルダーに含まれる軽量化可能ファイル(Office ファイル、PDF ファイルおよび JPEG ファイル)の数により増減します。シミュレーションモードを実行すると、削減可能なディスク容量を表示することが可能です。詳細は、[シミュレーションのレポート](#)を参照してください。軽量化モード実行時はダッシュボード画面下のステータスバーに実際に削減できたディスク容量が表示されます。または「現在実行中のレポート」で詳細を確認できます。

Q: NXPowerLite が実行しているタスクや発生したエラー情報はどこで確認できますか。

NXPowerLite のサービスにエラーが発生した場合は、イベントビューアの Windows ログの「アプリケーション」にログが残ります。復旧できない致命的なエラーが発生した際もログが残ります。エラーログでは、エラーの根本的な原因や解決方法などを参照することができます。

Q: パスに「\?\?」が表示されるのはなぜですか。

アクセスしようとしているフォルダーのパス名が 260 文字以上だった場合、Windows のバージョンによってはアクセスできない場合があるため、NXPowerLite ではパスに「\?\?」を表示します。「\?\?」が表示されたパスはイベントビューアの Windows ログの「アプリケーション」または軽量化を実行した後に閲覧できる「レポート」の[エラーログ]、[アクセス不可の対象フォルダー]、[解析不能ファイル]で参照することができます。

Q: NXPowerLite の実行中にダッシュボードを閉じても問題ないですか。

ジョブを実行している間にダッシュボードを閉じても問題ありません。NXPowerLite はバックグラウンドでシミュレーションまたは軽量化処理を行います。ダッシュボードを再度開くと、ステータスが更新された状態で表示します。現在実行しているジョブを停止するには、ダッシュボードに表示される[停止]ボタンをクリックしてください。

Q: NXPowerLite のデータはサーバー上のどこに保存されますか？

NXPowerLite は以下のフォルダーに設定を保存します。

- 32bit マシンの場合、レジストリキー[HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Neuxpower\NXPowerLite Fileserver\5.0]の直下。64bit マシンの場合、レジストリキー [HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\Neuxpower\NXPowerLite Fileserver\5.0]の直下。
- [All Users profile]フォルダーのサブフォルダー「Neuxpower\NXPowerLite for File Servers v5」。
- Windows のバージョンと設定によって [All Users profile]フォルダーのパスは異なります。Windows Server 2008、Windows 7 の場合は「C:\ProgramData\Neuxpower\NXPowerLite for File Servers v5」フォルダー、Windows Server 2003、Windows XP の場合は「C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\Neuxpower\NXPowerLite for File Servers v5」フォルダーになります。

Q: NXPowerLite を使用すると、CPU 使用率は高くなりますか？

はい。NXPowerLite は CPU やメモリなどのリソースを多く必要とするため、プロセッサがアイドル状態の時(夕方や週末など)に NXPowerLite を実行させるようスケジュールで設定することをお勧めします。

Q: 日付(例:2012 年 9 月 14 日)と時間を指定してジョブの開始を設定することはできますか？

はい。開始日時の指定と繰り返し設定(週ごと、月ごとなど)が可能になりました。詳細は、[スケジュール](#)を参照してください。

Q: ネットワーク経由でファイルの軽量化を行うことができません。

ネットワーク経由でのファイルの軽量化を行うことができない理由についてはいくつか考えられますが、まずは以下を確認してください。

- Windows エクスプローラを使用して、ネットワーク上の対象フォルダー内のファイルがアクセスまたは更新可能か確認してください。
- NXPowerLite ファイルサーバーエディションのサービスがネットワーク上の対象フォルダーにアクセスできるよう正しく設定されているかどうか確認してください。詳細は、[インストールおよび設定](#)を参照してください。

Q: シリアルナンバーを登録した後にシミュレーションモードを使用できますか。

使用できません。シリアルナンバー登録後にもシミュレーションモードを使用したい場合は、別のマシンにインストールしてご使用ください。

Q: 外部コマンドによる NXPowerLite の操作など、NXPowerLite の UI 画面(ダッシュボード)を使用せずに軽量化を実行することは可能ですか。

軽量化モード実行時のみ、コマンドプロンプトから SC コマンドを使用して「NXPowerLite File Server」サービスの操作(一時停止および再開)を行うことができます。ただし、SC コマンドによる NXPowerLite の操作を行うには、事前設定が必要です。詳細は、[技術サポート](#)を参照してください。

技術サポート

外部コマンドによる NXPowerLite ファイルサーバーエディションの実行

軽量化レベルの設定など軽量化対象フォルダーへの軽量化設定完了後、UI 画面を使用せずに NXPowerLite ファイルサーバーエディションを実行することが可能です。例えば、ファイルバックアップソフトの実行完了後に再開したい場合(ファイルのバックアップソフトの実行時間と NXPowerLite の実行時間が重なるのを防ぐため)などに使用します。

NXPowerLite ファイルサーバーエディションは Windows の「NXPowerLite File Server」サービスを使用してすべての処理を行っています。したがって、コマンドプロンプトから SC コマンドを使用して「NXPowerLite File Server」サービスの操作(一時停止および再開)を行うことができます。ただし、「pause」および「continue」コマンドのみ使用可能です。

NXPowerLite を一時停止したい場合は、以下のコマンドを入力しスクリプトを実行します。

sc pause "NXPowerLite File Server"

NXPowerLite の一時停止後に再開したい場合は、以下のコマンドを入力しスクリプトを実行します。

sc continue "NXPowerLite File Server"



注意: ダッシュボード上でスケジュールが設定されている場合、「continue」コマンドを実行してもすぐに再開しません。設定されているスケジュールが常に優先されます。スケジュール設定により一時停止している場合、「continue」コマンドを実行しても次の再開時間まで処理は実行されません。

Novell eDirectory について

詳細は、[こちら](#)を参照してください(英語のみ)。※日本では Novell eDirectory および Novell 製品全般についてはサポート対象外です。

制限事項

NXPowerLite が一時停止しない

スケジュールで設定されている、または手動で[停止]ボタンを押したにも関わらず、一時停止しない場合があります。NXPowerLite は軽量化処理を実際に行う前に軽量化対象フォルダーをスキャンして、軽量化対象のファイルリストを作成します。この軽量化対象ファイルリストの作成が完了するまでは、処理を停止することができません。ダッシュボード下のステータスバーには処理が進んでいるように表示されますが、実際には処理は実行されていません。

この現象は、シミュレーションモードおよび軽量化モードどちらの場合でも発生します。

回避方法

大抵の場合問題ありませんが、希望する時間に完全に NXPowerLite の処理が行われていない状態にしたい場合は、希望する時間の少し前に停止するようなスケジュールの設定をお勧めします。例えば 09:00 にジョブを完全に完了させたい場合、スケジュールの終了時間を 08:45 に設定することをお勧めします。

JPEG 画質レベルの比較

以下の表は、JPEG 画質の各軽量化レベルで軽量化した際のファイルサイズと圧縮率の結果となります。結果は軽量化する画像によっても異なりますので、こちらの情報はあくまで目安としてください。



圧縮前の画像



JPEG 画質:9



JPEG 画質:8



JPEG 画質:7



JPEG 画質:6



JPEG 画質:5



JPEG 画質:4



JPEG 画質:3



JPEG 画質:2



JPEG 画質:1

以下の表は、元のファイルサイズと各軽量化レベルで軽量化したファイルサイズの表となっています。ご覧のとおり、JPEG 画像に対して軽量化する際に推奨する初期値の「8」(Office ファイル内の JPEG 画像に対しては「7」が推奨する値です)で軽量化したファイルは、原本ファイルの 23%に軽量化されたにも関わらず表示や印刷には必要十分な画質となっています。

JPEG 画質	ファイル サイズ (kb)	圧縮後の ファイル容量 (%)
圧縮前	494	-
9	207	41
8	117	23
7	90	18
6	76	15
5	66	13
4	59	12
3	52	11
2	44	9
1	34	7

JPEG 画像に対する圧縮率

使用許諾

NXPowerLite は Neuxpower Solutions Ltd.の商標です。

Microsoft、Excel、PowerPoint、Windows は Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

NXPowerLite 開発元

Neuxpower Solutions Ltd.

URL: <http://www.neuxpower.com/>



NXPowerLite 国内総販売代理店

株式会社オーシャンブリッジ

URL: <http://www.oceanbridge.jp/>



つかえるITを、**世界から。**